

\*三重県薬剤師奨学金返還支援事業の対象病院として認定

## 薬剤部のビジョン

1. 高度先進医療・地域医療を支える
2. 医療人としてのプロフェッナリズムを醸成する
3. 未来を拓く診療・研究を推進する

## 三重大学病院について

設立：昭和18年12月(三重県立医学専門学校附属病院)  
 病院機能：特定機能病院  
 病床数：685床  
 拠点病院指定

**がん診療に特徴がある**

- ・エイズ治療拠点病院 1996.2.21
- ・地域災害拠点病院 1997.1.6
- ・都道府県がん診療連携拠点病院 2007.1.31
- ・肝疾患診療連携拠点病院 2008.12.25
- ・小児がん拠点病院 2013.2.8
- ・三重県アレルギー疾患医療拠点病院 2018.3.30
- ・三重県難病診療連携拠点病院2019.4.1
- ・がんゲノム医療拠点病院 2019.9.19



薬剤部集合写真 2025年4月16日撮影



三重大学病院キャラクター ミーベとミッピ



- ・入院・診療棟 2011年12月 開院
- ・外来・診療棟 2015年 5月 開院

- ・手術部、集中治療センター、外来化学療法部、病棟にサテライトファーマシーを設置
- ・抗がん剤調製ロボット、自動薬剤ピッキング装置、散薬調剤ロボット等を整備
- ・2025年5月より、薬剤師の地域出向を開始(尾鷲総合病院、三重ハートセンター)

## 薬剤部 スタッフ構成 (2026年4月予定) 薬剤師70名

教員：教授(兼薬剤部長)1名、准教授1名、講師1名、助教1名  
 職員：副薬剤部長2名、薬剤主任8名、常勤(無期)36名、任期付常勤 10名  
 薬剤師レジデント(任期付常勤)：1年次研修生4名、2年次研修生5名  
 非常勤薬剤師1名、事務補佐員：10名、(医療安全管理部助教1名、感染制御部助教1名)

**研究、教育にも力を入れる体制**



手術部サテライトファーマシー 自動薬剤ピッキング装置 抗がん剤調製ロボット

## 薬剤部が取得している研修施設認定

- ・認定薬剤師制度研修認定施設(日本医療薬学会)
- ・がん専門薬剤師研修認定施設(日本医療薬学会)
- ・薬物療法専門薬剤師研修認定施設(日本医療薬学会)
- ・がん薬物療法認定薬剤師研修認定施設(日本病院薬剤師会)
- ・妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師研修認定施設(日本病院薬剤師会)
- ・日本臨床薬理学会認定薬剤師制度研修認定施設(日本臨床薬理学会)
- ・緩和医療専門薬剤師制度研修認定施設(日本緩和医療薬学会)
- ・がん診療病院連携研修日本臨床腫瘍薬学会
- ・実務研修生受入施設(日本薬剤師研修センター)
- ・薬学生実務実習受入施設(薬学教育協議会)

**専門薬剤師取得にアドバンテージ**



入院時持参薬の確認

## 研究者・科学者としてのスキル

- ・大学院(臨床薬理学)で医学博士を目指す
- ・培養細胞実験、動物実験、臨床研究を実施



臨床薬理学研究室

## レジデント研修の特徴

1. 一般研修(2年)と地域研修(3年)を併設
2. 一般研修には1年次の医療薬学一般コースと2年次の医療薬学専門コースを設置
3. 2025年度より保険薬局での在宅医療の研修を開始
4. 経験豊富な専門薬剤師、指導薬剤師からの指導
5. 疾患・薬物治療、薬剤業務を学び、臨床薬剤師の職能拡大を目指す
6. 学会発表と論文執筆の方法を学ぶ
7. レジデントにメンターを選任し、研修目標の達成に向けたアドバイスだけでなく、キャリア形成に向けた相談に対応する
8. 過去には海外研修も実施(2016年、2017年)

## 待遇等(2025年4月時点)：一般研修 2年

給与等	基本給(月給)：学歴・経験等を考慮して決定 大学卒(6年制)：254,176円(新卒者)～※地域手当を含む、人事院勧告に基づく給与調整前 期末・勤勉手当(賞与)：年2回(6月・12月)、年間4.60月分支給 ※初年度は別計算 諸手当：通勤手当、住居手当、超過勤務手当等 退職手当：要件を満たした場合に支給
雇用期間	採用日から2年間 ※期間満了後は、勤務評価等により期間の定めのない職員として雇用する場合があります
勤務時間	1日当たり7時間45分、週38時間45分勤務 ※時間外勤務あり
休暇	年次有給休暇、特別休暇(産前・産後、夏季、リフレッシュ、忌引等)、病気休暇、育児休業等
加入保険	文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険

## 地域研修 3年(新規)

一般研修と異なる部分を抜粋

研修内容	1年次は医療薬学一般コース、2年次、3年次は地域研修コースとし、コース毎に修了証を発行する <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療薬学一般コース(臨床薬剤業務に必要な知識、技能を修得する)</li> <li>● 地域研修コース(一般コース修了後、薬剤師偏在地域の医療機関での臨床薬剤業務を経験し、地域医療に必要な基本的な知識ならびに技能を修得する)</li> </ul> ※三重県奨学金返還支援事業(在学中の5-6年生の時に貸与を受けた奨学金の返還を支援する制度)を適用
雇用期間	採用日から3年間 ※期間満了後は、勤務評価等により期間の定めのない職員として雇用する場合があります。

## 研修スケジュールの例

**薬剤師としての実践力を身につける業務研修**

**医師による講義 病態の知識、処方意図を理解する**

**セミナー研修**  
 ・講義研修の前に実施する  
 ・チーム力を醸成する  
 ・学習領域での薬剤師の活動を知る

### 1年次研修

セントラル研修	講義研修	セミナー研修
4月 調剤室	1か月1疾患(医師講義)	1か月2疾患(1回グループ研修)
5月 注射剤・製剤管理室		
6月 医薬品情報室		
7月 麻薬・手術部薬剤管理室		
8月 調剤室		
9月 注射剤・製剤管理室		
10月 調剤室		
11月 注射剤・製剤管理室		
12月 病棟薬剤業務管理室		
1月 外来診療・TDM管理室		
2月 がん薬物療法管理室		
3月		

### 2年次研修

病棟研修	講義研修	その他
4月 病棟1(循環器内科、心臓血管外科、呼吸器内科、呼吸器外科等)	1か月1疾患(医師講義)	チーム医療、研究活動等
5月		
6月		
7月 病棟2(肝胆臓・移植外科、消化管外科、消化器・肝臓内科等)		
8月		
9月		
10月 病棟3(産科婦人科、周産母子センター(NICU、MFCU))		
11月		
12月		
1月 病棟4(脳神経外科、脳神経内科、整形外科、形成外科等)		
2月		
3月		

### 講義研修

開催日	時間	分野	タイトル
2025/6/6	18:00-19:00	心臓・血管系疾患	心房細動
2025/7/8	18:00-19:00	呼吸器疾患	COPD
2025/8/19	18:00-19:00	内分泌・代謝疾患	脂質異常症
2025/9/19	18:00-19:00	血液疾患・腎疾患	腎不全
2025/10/27	18:00-19:00	悪性腫瘍	胃がん
2025/11/10	18:00-19:00	消化器疾患	潰瘍性大腸炎
2025/12/3	18:00-19:00	骨・関節疾患	骨粗鬆症
2026/1/20	18:00-19:00	神経疾患	パーキンソン病
2026/2/18	18:00-19:00	感覚器疾患	乾癬
2026/3/9	18:00-19:00	精神疾患	統合失調症

講義研修で学ぶ疾患について、調べてきたことをグループワークにより共有  
**【学習項目】**  
 疫学・発症機序、診断、治療、興味を持った文献を紹介  
**【学習資源】**  
 各種ガイドライン、書籍、文献等  
**【事前学習時間】**  
 平均10時間程度、レポート作成  
**【セミナー開催頻度・時間】**  
 1か月に1回、業務後に開催  
 2時間程度  
**【指導方法】**  
 担当教員がセミナーに加わり助言する。指導者はレポートを確認し、フィードバックする。

第2期生 5名



## 保険薬局(在宅医療)研修

研修期間：2年次研修：8月-10月の2週間

勤務時間  
 平日 9:00~17:45(木曜日を除く)  
 木曜日 7:30~16:15  
 7:30-8:00 勉強会

### 研修タイムスケジュール

	月	火	水	木	金
9:00~11:00	調剤業務				
11:00~13:00	近隣のクリニックの医師とともに回診へ				
13:00~14:00	昼休憩				
14:00~	調剤業務、在宅業務				

株式会社トウモファ  
 こうなん薬局



指導薬剤師5名 レジデント うち、三重大OB・OG3名

### 研修内容

- 在宅医療**
- 医師回診への同行
  - 副作用や処方意図の確認や残薬調整
  - 患者の症状に応じた薬剤提案
  - 自宅や居住施設への薬剤師単独での訪問
  - 自宅への配薬、新規薬剤開始時は薬剤指導
  - 施設の場合は、お薬カレンダーへ薬剤をセット
  - 必要場合は衛生材料の配達
  - 多職種連携情報管理システムの活用
- 地域連携の取り組み**
- 香良洲地区地域ケア会議(月1回)
  - 医師診察の見学
  - 医師の間診・診断から処方決定までの流れを理解
  - 勉強会の実施(週1回)
  - 毎週木曜日の7:30-8:00、テーマは医師が策定
  - 在宅患者情報共有会(週1回)
  - 毎週金曜日、その週に訪問した患者の情報を共有

## 学会発表等(筆頭) 2016~2025年度

- ・日本薬剤師レジデントフォーラム 14回
- ・日本医薬品情報学会総会・学術大会 2回
- ・日本医療薬学会年會 1回
- ・医療薬学フォーラム 1回
- ・日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 1回
- ・日本骨粗鬆症学会 1回
- ・膝がん教室ワークショップ 1回

## 学位、専門薬剤師(修了者の新規取得)

- ・医学博士 1名
- ・医療薬学専門薬剤師 2名
- ・薬物療法専門薬剤師 3名
- ・妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 1名
- ・抗菌化学療法認定薬剤師 1名
- ・腎臓病療養指導士 1名
- ・NST専門療法士 1名

## 実績及び進路 2016~2025年度

1年次研修	39名	1年次研修修了者の進路	
同 修了	32名	三重大学医学部附属病院	1名
同 修了見込	4名	保険薬局	4名
		大学院	1名
2年次研修	28名	2年次研修修了(見込)者の進路	
同 修了	22名	三重大学医学部附属病院	18名
同 修了見込	2名	県外大学院	2名
		総合病院	2名
		保険薬局	1名

## 第1期生が第7回日本薬剤師レジデントフォーラムシンポジウムにて発表した際の薬事日報記事



三重大学医学部附属病院薬剤部  
 ホームページへのリンク

